

紫尾・鶴田保育所交通安全教室

ゼンちゃんから交通ルールを学びました！

2月21日(木)、紫尾保育所と鶴田保育所で交通安全教室が行われました。

教室では、初めに腹話術人形ゼンちゃんから、交通ルールや横断歩道の渡り方の話があり、握手をしたりしました。次に交通安全に関する映画鑑賞があり、その後、外に出て、道路の横断のしかたを実際に体験し、おまわりさんの指導にしたがってキビキビと行動していました。また、人形で交通事故を再現した時には、子供たちも驚いている様子でした。

最後には、交通安全に関するパズルのプレゼントがあり、子供たちも喜んでいました。



④ゼンちゃんと握手したよ
(紫尾保育所)
⑤おまわりさんに横断歩道の渡り方を教わりました
(鶴田保育所)

大根に異変？

巨大な大根！ 奇妙な形の大根！



自分の足よりも大きな大根を支える
内村さん

鶴田の内村一二三さんの畑で、重さ10kg長さ80cmの大根が発見されました。大根は青首大根の一種で、通常のもは1kg前後のものだそうです。

内村さんは、畜産の傍ら野菜を生産し、町特産品販売所自慢館へ出品しています。今回の大根は1月初めにとる予定だったのが、狂牛病の影響で畜産の方が忙しく、ひと月遅れの2月初めに掘ったもの。内村さんは「畜産をしているため堆肥があまり、全て畑にまいたこととひと月遅れの収穫が原因ではないか」と話していました。この他にも横に大きくなったものや、5kg前後のものも収穫されています。

また、神子の栗野ヒサエさんの畑では、奇妙な形の大根が発見されました。畑に大根の収穫にでかけ、大根を引っ張ると、二股に分かれていることに気がつき、割れないように掘り出すと、真ん中からも小さな根が出ていました。全て掘りだしてみるとその姿は男性の下半身そのもの。栗野さんも、畜産のかたわら野菜づくりをしており、自慢館へ出品しています。大根の種類は白秋という漬物用のもの。農業は生きがいのある仕事ですという栗野さん。「こんな大根は初めて。」と大変驚いていました。



奇妙な形の大根を手にする
栗野さん

町特産品販売所自慢館

冬の大鍋まつり開催！



大勢の買物客が訪れました

町特産品販売所「自慢館」で2月3日(日)「川薩地域ふれあい“食”交流会」と「自慢館冬の鍋祭り」が合同で開催されました。この日は天候にも恵まれ、会場では、特設されたテントで新鮮な野菜や加工品などが販売され、約1,500人の買物客でにぎわっていました。

午前11時には、鍋祭りの主役である豚汁が無料配布され、町内産の新ゴボウや野菜がたっぷりはいった300人分の豚汁が30分ほど無くなっていました。また、節分に併せ、町内産の大豆を使用して作ったポン菓子も無料配布され、テントの前には多くの行列ができていました。町外からの来客も多く「寒日の中、豚汁など温まる心づかいに感謝します」「地方色豊かで楽しい時間でした。また来ます。」といった感想も多くでてました。

鶴田の岩川正利さん

県身体障害者作品展で銀賞に輝く

第29回鹿児島県身体障害者作品展で、鶴田の岩川正利さんが製作した「花かご」が銀賞に輝き、県身体障害者福祉協会から表彰されました。

岩川さんは、10数年前から体に障害を被り、リハビリの一環として竹細工をはじめられました。現在は、花かごのほかにも、ザルや手提げかご、色紙掛けなどさまざまな作品を作られています。また、鶴田の会にも所属し、製作に取り組みられています。

今回の受賞に「とてもうれしいことでびっくりしています。今後も頑張っ続けていきたいです。」と喜びの言葉を話されました。



入賞作品と作業をしている岩川さん

鶴田中学校入学説明会

生徒会を中心に寸劇発表！



中学生の説明を熱心に聞く児童

2月8日(金)、鶴田中学校で小学6年生への入学説明会が行われました。

例年教頭が各小学校へ出向いて説明していましたが、今年は、教頭説明の後、生徒会が中心となった寸劇発表や2年生の合唱、部活動紹介など、生徒からの説明も加わり、参加した小学生は、お兄さん、お姉さんの発表を熱心に聞いていました。

最後には、生徒を代表して2年生の赤木亜沙美さんが「残りの小学生生活を楽しんでください。皆さんの入学を待っています。」とあいさつしました。